

アンケート

- ・山口県高圧ガス保安協会を以下「YKHK」と表記します。
- ・回答は解答欄に☑(チェック)を記入下さい。

1. 貴社(事業所等)について

1-1. 所在地はどちらですか。

- ① 下関地区
- ② 長門・萩地区
- ③ 宇部・小野田・美祢地区
- ④ 防府・山口・周南・下松・光地区
- ⑤ 柳井・岩国・和木地区
- ⑥ 島根県(冷凍)
- ⑦ その他(地区名: _____)

解答欄

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

1-2. 高圧ガスに係る業務は何ですか。(複数選択可)

- ① 製造 (☐ コンビ則、☐ 一般則、☐ 冷凍則)
- ② 貯蔵
- ③ 販売
- ④ 移動
- ⑤ 取扱
- ⑥ 消費
- ⑦ その他

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

1-3. 業務で取り扱っている高圧ガスは何ですか。(複数選択可)

- ① 可燃性ガス
- ② 毒性ガス
- ③ 可燃性毒性ガス
- ④ 不活性ガス

①	
②	
③	
④	

1-4. 高圧ガスに係る業務の従業員(派遣社員、再雇用者等含む)数は何名ですか。
また、同従業員の平均年齢は何歳ですか。

部門名	従業員数(A)	平均年齢(B)
製造等の直接部門	① 10名以下	① 30歳以下
	② 11～50名	② 31～40歳
	③ 51～100名	③ 41～50歳
	④ 101～150名	④ 51～60歳
	⑤ 151名以上	⑤ 61歳以上
設備保全部門	① 5名以下	① 30歳以下
	② 6～10名	② 31～40歳
	③ 11～20名	③ 41～50歳
	④ 21～50名	④ 51～60歳
	⑤ 51名以上	⑤ 61歳以上
保安管理部門	① 専任0名	① 30歳以下
	② 1名	② 31～40歳
	③ 2～3名	③ 41～50歳
	④ 4～5名	④ 51～60歳
	⑤ 6名以上	⑤ 61歳以上

(A) (B)

①		
②		
③		
④		
⑤		
①		
②		
③		
④		
⑤		

2. 法令順守

2-1. コンプライアンスに係るマニュアルは、定められていますか。

- ① 定めており、定期的に見直しを実施している。
- ② 定めており、法令改正等があった都度見直しを実施している。
- ③ 定めているが、見直しの実績はない。
- ④ 定めていない。

①	
②	
③	
④	

3. 事業所の事故・災害防止をゼロ化するための「技術・技能の伝承と人財の育成」について

★老朽化した高圧ガス関連設備対応

3-1. 老朽化した高圧ガス関連設備の補修・更新計画がありますか。

- ① 具体化した中長期計画(投資計画)があり、実施している。
- ② 中長期の計画はないが、単年度毎に投資計画を策定し、実施している。
- ③ 中長期の計画はなく、必要の都度、投資等計画を策定し、実施している。
- ④ 老朽化した設備はない。

①	
②	
③	
④	

★技術・技能の伝承

3-2. 伝承すべき技術・技能を明確化し、伝承されていますか。(複数選択可)

- ① 製造等直接部門に係る当該技術・技能は、文書化され、伝承策が実施されている。
- ② 設備保全部門に係る当該技術・技能は、文書化され、伝承策が実施されている。
- ③ 文書化は済んでいるが、伝承に不安がある。
- ④ 伝承すべき技術・技能は特にない。
- ⑤ AI・IoT・ビッグデータ等の導入を考えている。

①	
②	
③	
④	
⑤	

注) ・AI(Artificial Interigence) : 人工知能の活用技術
 ・IoT(Internet of things) : インターネット接続したものの活用技術
 ・ビッグデータ(Big Data) : 膨大なデータの活用技術

3-3. 実施されている伝承策はどのようなものがありますか。(複数選択可)

- ① 各部門共、年齢構成の平準化を図り、伝承者を確保している。
- ② 社内や社外の研修センターを利用して、当該技術・技能の教育を実施している。
- ③ 技術・技能の指導員認定制度等を導入している。
- ④ 教育等に、会社OB又はシニア等を活用している。
- ⑤ その他の伝承策 (自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

★人財の育成

3-4. 高圧ガス関連の従事者育成に関して、懸念される**こと**がありますか。(複数選択可)

- ① 特にはない。
- ② 育成する人員が、十分確保出来ない。
- ③ 育てても、転職を希望する者が出てくる。
- ④ 教育・訓練の時間が思うように取れない。
- ⑤ モチベーションが低く、順調に育たない。
- ⑥ 有資格者数が少ない。
- ⑦ その他の懸念事項 (自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

3-5. 「特にはない」と答えた方は、育成施策についてお答え下さい。(複数選択可)

- ① OJT要員を確保し、時間をかけて現場力を育成している。
- ② 計画的にドキュメント教育(Off-JT)を実施し、質疑応答等で理解確認を行っている。
- ③ 力量評価の維持向上策を活用し、効率的に行っている。
- ④ モチベーションの維持・向上策を実施している。
- ⑤ e-ラーニング利用により、教育の時間制約を改善し、実施している。
- ⑥ その他の育成施策 (自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

注) ・e-ラーニング(Electrical Lernning) : 電子教材を利用した教育方法

3-6. 若年世代のモチベーション(やる気)を維持・向上させるための施策を行っていますか。(複数選択可)

- ① 資格取得に対する報奨金制度を設けている。
- ② 個々の能力に応じたノルマを与え、評価により賃金に反映させている。
- ③ 試験による昇進制度を採用している。
- ④ 提案等に対して称賛・表彰制度を採用している。
- ⑤ 特には行っていない。
- ⑥ その他 (自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

4. 設備劣化が進む中での異常現象に対応するための「教育・訓練」について

★異常現象とその把握

4-1. 異常現象の原因は、どのようなものをお考えですか。(複数選択可)

- ① 設備不良
- ② 人財のアンバランス
- ③ 地震、津波、液状化、事業所内全停電
- ④ 大雨、洪水
- ⑤ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

注)・異常現象：火災、爆発、漏洩、破損、暴走反応等

4-2. 通常状態で現場の異常現象を把握する手段がありますか。(複数選択可)

- ① トレンドデータ(監視値の変移傾向)
- ② 計器類・PC等の異常発報警報
- ③ 現場パトロール
- ④ 他からの通報
- ⑤ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

4-3. プロセス運転の自動化が進んでいる中で、現場確認の重要性について認識されていますか。

- ① 計器監視と同レベルであると認識している。
- ② 現場状況がコントロール室ですべてがわかるので、特に現場確認は必要ない。
- ③ その他(自由記述)

①	
②	
③	

4-4. 事故に至る前の異常現象を発見した時は、どのように対応するかを教育されていますか。

- ① 上司に連絡し、緊急停止する。
- ② 自分で応急処置して様子を見る。
- ③ 状況を自己判断してそのまま続行する。
- ④ 状況をカメラ等に記録し、上司又は計器室等に転送、指示を仰ぐ。
- ⑤ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

4-5. 現場パトロールは、どのように実施されていますか。

- ① 常時パトロールしている。
- ② 順路を決めて定期的にパトロールしている。
- ③ 異常警報が発報した時にパトロールしている。
- ④ 計器監視のみでパトロールしていない。

①	
②	
③	
④	

★異常現象等に対する教育・訓練

4-6. 異常現象に対する教育・訓練は、どのように実施していますか。(複数選択可)

- ① 自社の過去の事故事例を参考に実施している。
- ② 他社の事故事例を参考に実施している。
- ③ 自社従業員(監督者・直属上司・ベテラン担当者等)の講師で実施している。
- ④ 外部講師で実施している。
- ⑤ 他の事業所の見学や事例紹介により実施している。

①	
②	
③	
④	
⑤	

4-7. 教育方法は、どのような形式ですか。(複数選択可)

- ① 資料の読み合わせ
- ② ビデオ等を活用した視聴覚教育
- ③ 危険体感等を活用した体験教育
- ④ 他社の防災訓練・教育センター等での研修
- ⑤ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

4-8. 教育の実施頻度はどの程度ですか。(新入者導入教育は除く。)

- ① 異常現象等の発生時
- ② 毎月
- ③ 2～6ヶ月毎
- ④ 1年毎
- ⑤ 不定期

①	
②	
③	
④	
⑤	

4-9. 防災訓練はどのように実施されていますか。(複数選択可)

- ① 部門単位
- ② 事業所全体
- ③ 近隣事業所(地域住民)と合同
- ④ 関係機関(県・市町・消防・警察・海上保安部・防災協会)等と合同
- ⑤ 机上訓練
- ⑥ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

4-10. 防災訓練の実施頻度はどの程度ですか。

- ① 毎月
- ② 2～6ヶ月毎
- ③ 1年毎
- ④ 不定期

①	
②	
③	
④	

4-11. 緊急(自然災害・プラント事故等)時のBCPを作成し周知されていますか。

- ① すべての緊急事態に対するBCPがあり、周知されている。
- ② 一部の緊急事態に対するBCPはあり、周知されている。
- ③ 緊急事態の措置対応マニュアルはあるが、BCPにはなっていない。
- ④ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	

注)・BCP(Business Continuity Planning) : 災害などの緊急事態が発生したときに、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。事業継続計画。

5. 自主保安活動の推進による自己責任感の醸成

★自主保安活動

5-1. 設備の定常でのメンテナンス(定期修理時等は除く。)は、誰が実施していますか。(複数選択可)

- ① 自社運転担当者
- ② 自社メンテナンス担当者
- ③ 子会社
- ④ 協力会社
- ⑤ 社外業者

①	
②	
③	
④	
⑤	

5-2. メンテナンスを実施する担当者の技術力及び知識力に満足していますか。

尚、②又は③を選択された方は、必ず④を回答下さい。

- ① 満足
- ② 少し不安
- ③ 不安
- ④ 不安は何ですか。(自由記述)

①	
②	
③	
④	

5-3. 今後のメンテナンス体制については、どのようにお考えですか。

なお、③又は④を選択された方は、必ず⑤を回答ください。

- ① 現状通り、自社従業員で実施する。
- ② 現状通り、子会社等で実施する。
- ③ 現状、自社従業員で実施しているが、外部委託を検討する。
- ④ 現状、子会社等で実施しているが、自社従業員に移行を検討する。
- ⑤ ③又は④の理由は何ですか(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

5-4. 今後のメンテナンス方式については、どのようにお考えですか。(複数選択可)

- ① BM(事後保全: Breakdown Maintenance)主体
- ② TBM(定期「時間基準」保全: Time Based Maintenance)とBMの併用
- ③ CBM(予知「状態基準」保全: Condition Based Maintenance)の導入
- ④ AI(人工知能)を利用したCM(改良保全: Corrective Maintenance)の導入
- ⑤ その他 (自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

★自己責任感

5-5. 担当者の意識として「自分の設備は自分で守る」という自己責任感が醸成されているとお考えですか。なお③又は④を選択された方は、必ず⑤を回答ください。

- ① 充分認識されている。
- ② それなりに認識されている。
- ③ 認識が不足している。
- ④ 認識が欠如している。
- ⑤ ③又は④の理由は何ですか。(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

5-6. 多様な働き方改革が求められている現在、従業員の職場定着状況は如何ですか。

- ① 問題ない。
- ② 一部には新たな職を求めて転職が生じている。
- ③ 定着率は悪い。

①	
②	
③	

5-7. 定着率が悪い場合は、どのようにされていますか。

- ① あらかじめ退職を見込んで採用しているので問題ない。
- ② 他の職場からのローテーションでカバーしている。
- ③ 中途採用者でカバーしている。
- ④ 無補充
- ⑤ その他 (自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	

6. 「異業種交流による広範囲な保安力の構築」「高圧ガス保安に係る資格所有者の確保」

★異業種交流による広範囲な保安力の構築

6-1. 高圧ガスの保安力向上施策として、他社との交流による情報収集を行っていますか。

- ① 頻繁に行っている。
- ② 定期的に行っている。
- ③ 機会があれば行いたい。
- ④ 行っていない。

①	
②	
③	
④	

6-2. 「行っている」と回答された方、その方法は何ですか。(複数選択可)

- ① ネットワークを構築している。
- ② 必要の都度交渉し、実施している。
- ③ 団体(YKHK等)・行政等の紹介を受けている。
- ④ その他 (自由記述)

①	
②	
③	
④	

★高圧ガス保安に係る資格所有者の確保

6-3. 高圧ガス関連の法で定められている有資格者は確保されていますか。

- ① 若年層を含めて十分に確保している。
- ② 熟練者で確保している。
- ③ 年齢層でバランスに問題がある。
- ④ 全体的に不十分である。

①	
②	
③	
④	

6-4. 今後の有資格者の確保を進める手段として、以下のどの方法をお考えですか。(複数選択可)

- ① 受験費用を何回受けても会社負担とする。
- ② 資格取得を人事評価項目に加える。
- ③ 資格を取得した場合の報奨制度を設ける。
- ④ 資格取得に係る自社(内部)講習を開催し、取得を支援する。
- ⑤ 資格取得に係る外部講習を受講させる。
- ⑥ 業務命令を出す。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

7. 現行YKHK(総務委員会、技術委員会、検査員並びに専門委員会)活動の活性化

★表彰者の裾野拡大

7-1. YKHK等の表彰者制度をご存知ですか。

- ① 知っている。
- ② 表彰制度があるのは知っているが、表彰の要件等は良く分からない。
- ③ 知らない。

①	
②	
③	

7-2. 貴社に表彰に値する方はいらっしゃいますか。

- ① 候補者はあり。
- ② 表彰の要件が分かれば、対象者をノミネートしたい。
- ③ 候補者はいない。

①	
②	
③	

7-3. 貴社従業員の方でYKHK会長表彰を受けられた方はいますか。(複数選択可)

- ① 保安功労者の実績あり。
- ② 優良保安責任者の実績あり。
- ③ 優良販売主任者の実績あり。
- ④ 優良移動監視者の実績あり。
- ⑤ 表彰実績なし。

①	
②	
③	
④	
⑤	

7-4. 「表彰実績あり」の場合、表彰者の表彰時の役職は何ですか。(複数選択可)

- ① 経営幹部(部長)クラス
- ② 管理者(課長・係長)クラス
- ③ 職場責任者(班長・作業長)クラス
- ④ 一般職

①	
②	
③	
④	

7-5. 「表彰実績あり」の場合、表彰者の対応についてどうお考えですか。

- ① 表彰者を社報等で紹介している。
- ② 人事考課において考慮している。
- ③ 何もない。
- ④ その他 (自由記述)

①	
②	
③	
④	

★「高圧ガス保安活動推進週間」行事ポスター・スローガン応募の裾野拡大

7-6. ポスターやスローガンに応募したことがありますか。

- ① ある。
- ② ない。

①	
②	

7-7. 「ない。」と答えた方へ、応募されない理由は何ですか。

- ① ポスター・スローガンの応募を知らなかった。
- ② フリーの募集の為、応募に積極的になれない。
- ③ 絵心のある従業員がいないと、ポスター応募出来ない。
- ④ ポスターの場合、手間が掛かる。
- ⑤ ポスター・スローガンはマンネリ化し、毎年の応募を疑問視している。
- ⑥ その他 (自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

7-8. YKHKホームページのポスターやスローガンはどのように活用されていますか。(複数選択可)

- ① 掲示版や関係職場に掲示している。
- ② 週間行事等でスローガンを関係者で唱和している。
- ③ その他 (自由記述)

①	
②	
③	

★特防協・保防協以外の移動に係る防災訓練の出前訓練

7-9. YKHKが出前で移動に係る防災訓練をサポートする場合、同訓練を希望しますか。

- ① 訓練実施者として参加したい。
- ② 訓練実施の手伝いとして参加したい。
- ③ 具体的なサポート内容が解れば、参画を検討したい。
- ④ 訓練の見学をしたい。
- ⑤ 自社企画の訓練で十分なので希望しない。

①	
②	
③	
④	
⑤	

注)・特防協・保防協(特別防災区域協議会・保安防災協議会):石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所で構成する防災協議組織。県内には、岩国・大竹地区、下松地区、宇部・小野田地区の3つの特防協と周南地区、六連島地区の2つの保防協がある。

★YKHKの活用状況

7-10 YKHKに技術的な相談等をする事がありますか。

- ① 月に1回以上ある。
- ② 年に数回程度ある。
- ③ 数年に1回程度ある
- ④ 実績はないが、機会があれば活用したい。
- ⑤ 実績はないが、機会があればYKHK以外を活用したい。
- ⑥ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

★YKHK会員の勧誘

7-11 YKHK会員を増やす手立てがありますか。

- ① ホームページを充実して、協会活動の見える化を図る。
- ② 非会員へYKHKが主管する防災訓練や講習会の案内を行う。
- ③ 会員勧誘パンフレット等を作成し、非会員へ配布する。
- ④ その他(自由記述)

①	
②	
③	
④	

7-12 今後のYKHK活動の活性化を進めていく上で、すそ野拡大のための施策について、つぎの項目毎にニーズ等を具体的に記載下さい。

- ① 表彰者のすそ野拡大策(自由記述)

--

- ② ポスター・スローガンの応募拡大策(自由記述)

--

- ③ YKHK会員のすそ野拡大策(自由記述)

--

8. その他

8-1. YKHK又は行政・KHKに対してどんなことでも結構です、忌憚のないご意見をお願いします。

『意見欄』

ご協力ありがとうございました。